TEAC

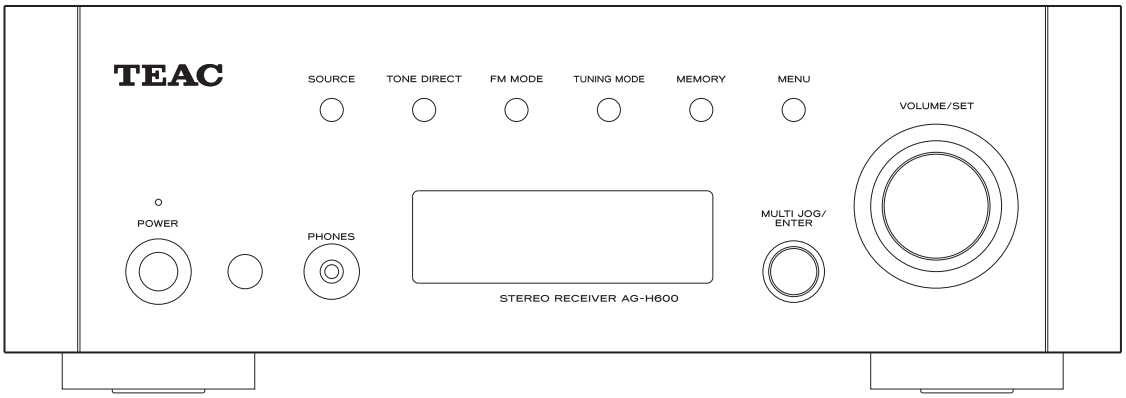
D01021801A

取扱説明書

AG-H600

Stereo Receiver

Made for iPod



目次

お使いになる前に 2
安全にお使いいただくために. 3
アンテナの接続. 6
スピーカーの接続 7
システムコントロール. 7
接続 8
各部の名称 10
リモコンの使い方 12

基本操作. 12
iPodを聴くには 15
ラジオを聴くには 17
放送局のプリセット 18

困ったときは 20
出荷時の状態に戻すには 21
仕様 22
お手入れ. 22
保証とアフターサービス(よくお読みください) 23

"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

FMアンテナ×1
AMループアンテナ×1
電源コード×1
リモコン(RC-1181)×1
乾電池(単4) ×2
iPodドック(DS-20)×1
取扱説明書×1
保証書×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
 強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のケーブルを使用する。**
強制	**この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。** 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。

⚠注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ディスクの挿入口に手を入れない。機器の内部に異物を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

アンテナの接続

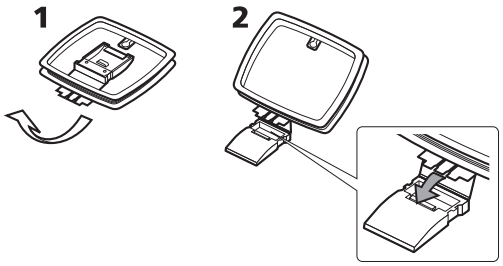
AMアンテナ [ANTENNA AM]

AM室内アンテナ

付属のAMループアンテナを組み立て、リアパネルのAMアンテナ端子に接続します。

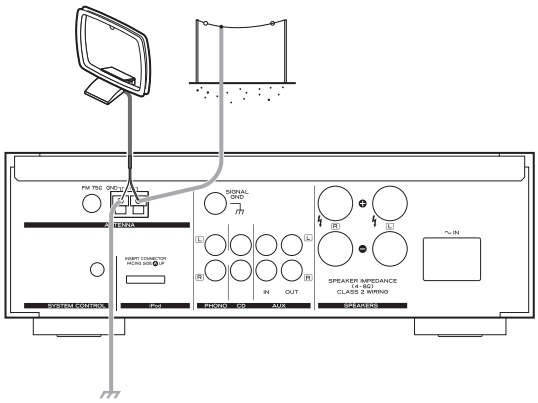
アンテナコードは黒い方をGNDに、白い方をもう片方の端子に接続してください。

AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。
また、アンテナコードはできるだけ電源コードやスピーカーコードなどと離してください。



AM屋外アンテナ

AM電波の弱い地域では、6～15mのビニール線を窓際か屋外に水平に張り、AM端子のGNDでない側に接続してください。

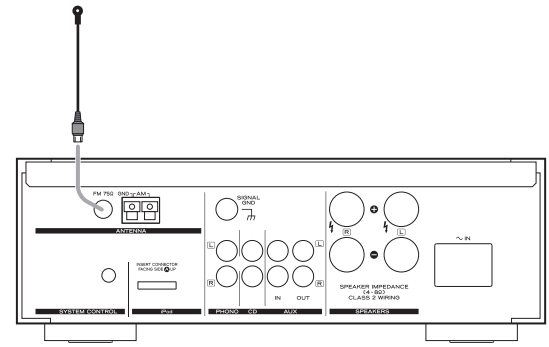


● 屋外アンテナを使用するときは、必ずGND端子をアースにつないでください。

● 屋外アンテナと接続する場合でも、付属のAMループアンテナは接続したままにしてください。

FMアンテナ [ANTENNA FM 75Ω]

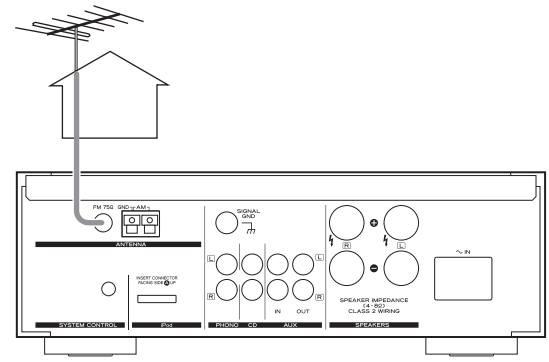
付属のFM室内アンテナをFM 75Ωジャックに差し込み、アンテナを伸ばします。受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。



FM屋外アンテナ

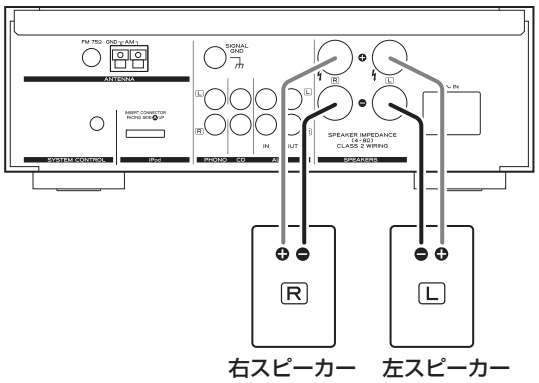
FM電波の弱い地域では3素子の屋外アンテナを使用し、75Ω同軸ケーブルで接続してください。
特に電波の弱い地域では、5素子以上のアンテナを使用してください。

● 屋外アンテナを接続するときは、FM屋内アンテナを外してから接続してください。



スピーカーの接続

AG-H600



右スピーカー　左スピーカー

⚠ 接続時の注意

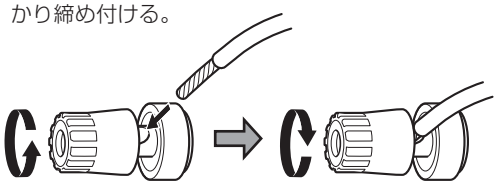
- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

ご注意

- スピーカーは公称インピーダンスが４Ωから８Ωのものをお使いください。これ以外のスピーカーを使用すると、保護回路が働いて音が止まったりすることがあります。
- 本機の赤い端子が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
  スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

1. 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。
2. 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。



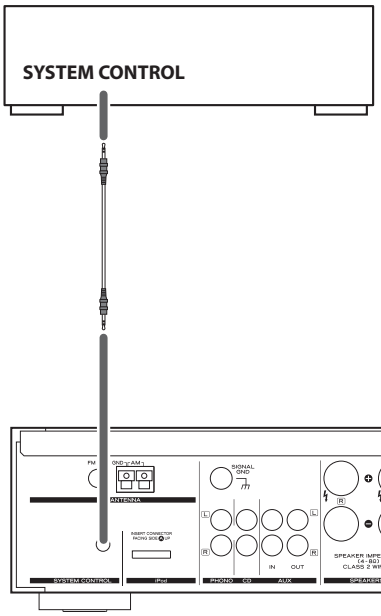
- ケーブルの被覆が端子と接触しないようにしてください。

3. ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

システムコントロール

本機とPD-H600のシステムコントロール端子を接続すると、便利なシステムコントロール機能を使用できます。

PD-H600

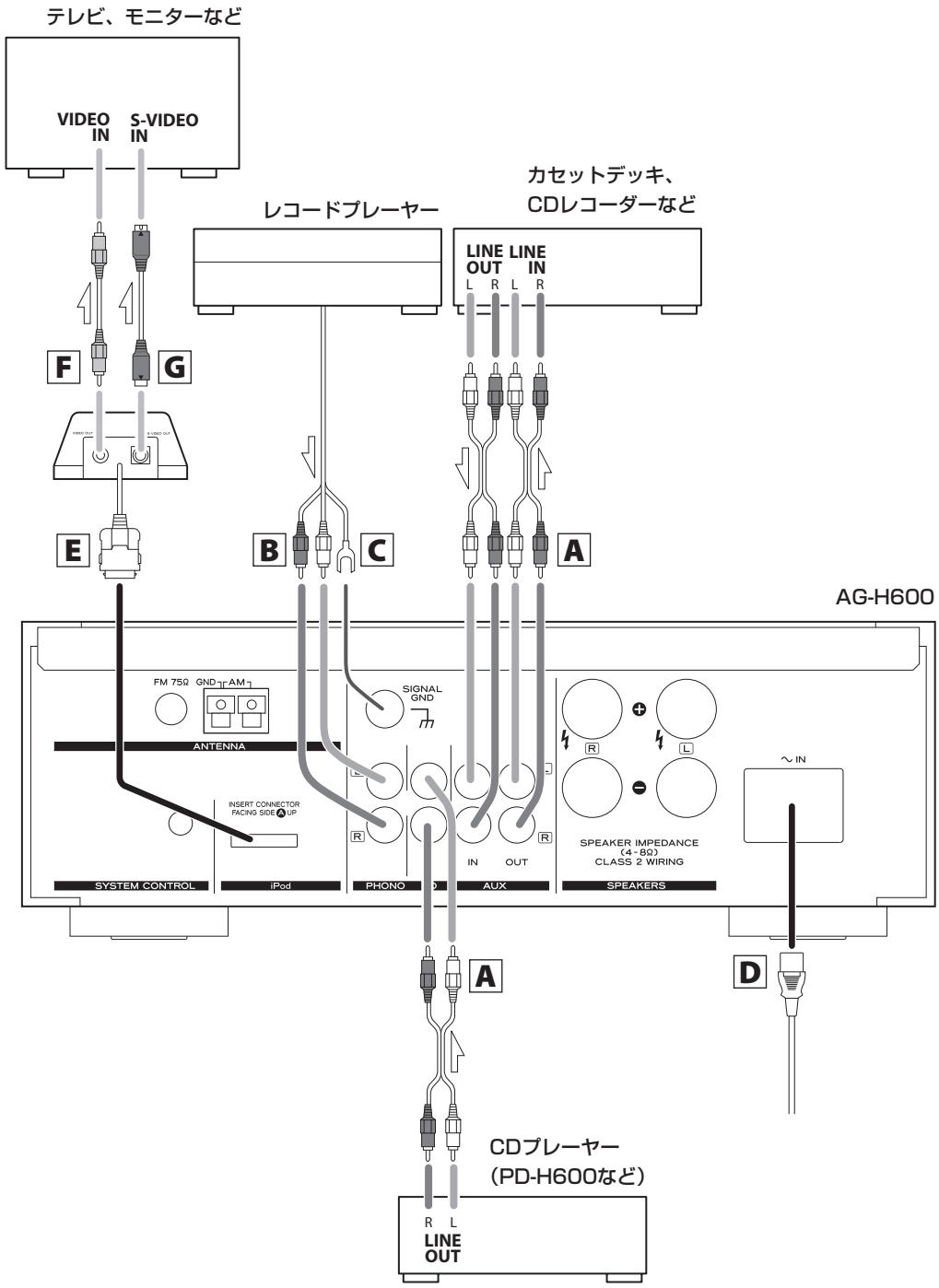


- 本機のリモコン(RC-1181)のスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押すことで、PD-H600のスタンバイ／オンを切り換えることができます。PD-H600のリモコン(RC-1182)のスタンバイ/オンボタンは機能しなくなります。

- 本機の入力をCDから他のソースに切り換えると、PD-H600は自動的に再生を停止してディスプレーを消灯します。

  システムコントロール機能を使うには、本機とPD-H600のシステムコントロール端子(SYSTEM CONTROL)同士をシステムコントロールケーブル(PD-H600に付属)で接続し、PD-H600背面のシステムコントロールスイッチ(SYSTEM CONTROL SELECTOR)を「SYSTEM」に切り換えてください。

接続



⚠接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声入出力端子

アナログの音声が入出力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子に接続してください。

- オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。



- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B フォノ入力端子 [PHONO]

レコードプレーヤーの音声を入力します。
レコードプレーヤーのカートリッジは、MM型またはMM型相当の出力レベルのカートリッジをお使いください。

- レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。接続しない場合、ハム音(ブーンという雑音)が発生します。
- 白のピンプラグは白(L)端子に、赤のピンプラグは赤(R)端子に接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

C アース端子 [SIGNAL GND]

レコードプレーヤーなどのアース線を接続します。

- 安全アースではありません。

D 電源インレット

付属の電源コードを使って家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ 付属電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。

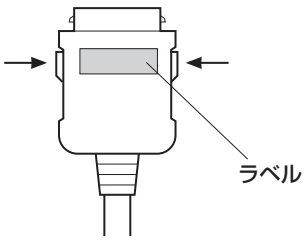
また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

E iPodドック [iPod]

iPodドック(付属)を、本機のiPod端子に接続します。

- 接続の際、コネクタのラベル面を上にして接続してください。
- コネクタは、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

コネクタを抜くときは、コネクタの両側を押さえながら引き抜いてください。



対応iPodについて

お手持ちのiPodが本機でうまく動作しない場合は、iPodソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合があります。アップルのホームページから最新のiPodソフトウェアをダウンロードしてください。

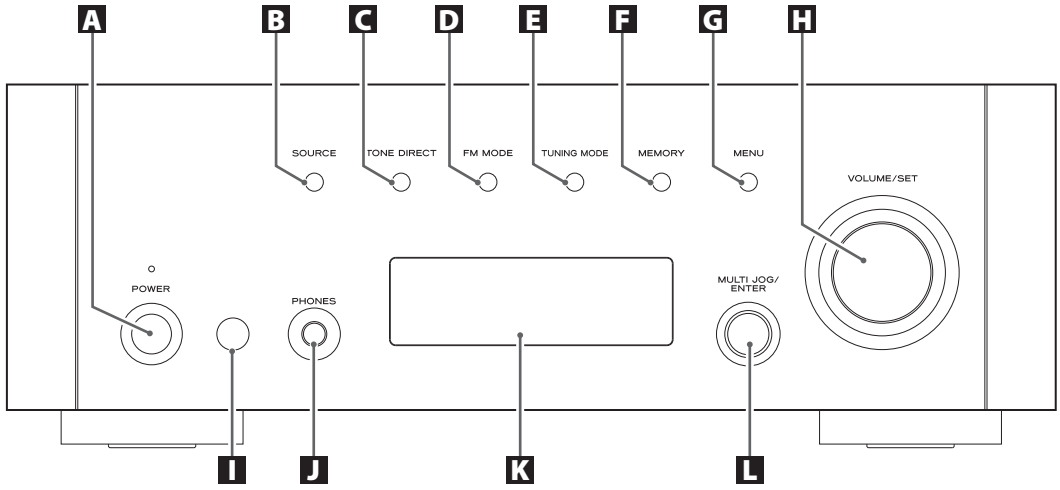
F 映像出力端子 [VIDEO OUT]

iPodの映像信号を出力します。
市販のコンポジットビデオケーブルを使って、テレビやモニターの映像入力端子と接続してください。

G S映像出力端子 [S-VIDEO OUT]

iPodのS映像信号を出力します。
市販のSビデオケーブルを使って、テレビやモニターのS映像入力端子と接続してください。

各部の名称



A 主電源スイッチ [POWER]

電源をオン/オフします。
スタンバイではインジケーターがオレンジに、オンではインジケーターが青に光ります。

B 入力切換ボタン [SOURCE]

繰り返し押して再生するソースを選択します。（12ページ）

C トーンダイレクトボタン [TONE DIRECT]

このボタンを押すと、トーンとバランス回路をバイパスします。
再びこのボタンを押すと元の状態に戻ります。（14ページ）

D FMモードボタン [FM MODE]

FM放送受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。（17ページ）

E チューニングモードボタン [TUNING MODE]

チューニングモードを選択するときに使用します。（17ページ）

F メモリーボタン [MEMORY]

放送局をプリセットに記憶させるときに使用します。（18ページ）

G メニューボタン [MENU]

iPodの再生時にこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。（16ページ）

H 音量/セットつまみ [VOLUME/SET]

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。
このボタンを押すと、音質とバランスの調整ができます。

I リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

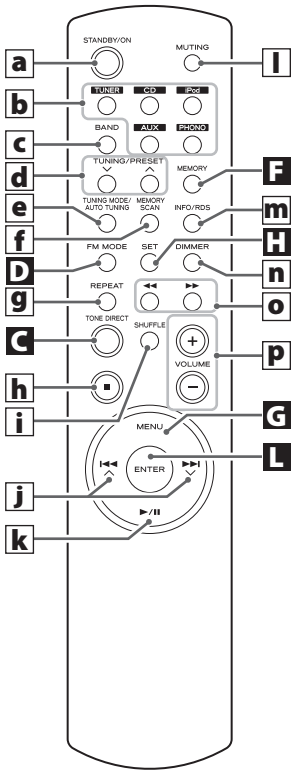
J ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンのΦ3.5mmステレオミニプラグを接続します。

K ディスプレー

L マルチジョグ/エンターつまみ [MULTI JOG/ENTER]

放送局を選んだり、メニューの項目を選んだりできます。
このボタンを押すと、メニューなどで選んだものを確定します。



a スタンバイ/オンボタン [STANDBY/ON]
スタンバイ/オンを切り換えます。

b 入力選択ボタン [TUNER, CD, iPod, AUX, PHONO]
再生するソースを選択するのに使用します。(12ページ)

c バンドボタン [BAND]
FMとAMを切り換えます。(17ページ)

d 選局/プリセットボタン [TUNING/PRESET ∨/∧]
放送局やプリセットチャンネルを選局する時に使用します。(17ページ)

e チューニングモードボタン [TUNING MODE]
チューニングモードを選択するときに使用します。(17ページ)

f メモリースキャンボタン [MEMORY SCAN]
プリセットチャンネルの一覧を表示させます。(19ページ)

g リピートボタン [REPEAT]
PD-H600およびiPodのリピートモードを切り換えます。(16ページ)

h ストップボタン [■]
PD-H600およびiPodの再生を停止します。

i シャッフルボタン [SHUFFLE]
PD-H600およびiPodのランダムモードを切り換えます。(16ページ)

j スキップ/スクロールボタン [I◄◄ ∧/ ►►I ∨]
CDプレーヤーの再生時は、前または後ろの曲にスキップします。
iPodの再生時は、iPodのメニューのスクロールに使用します。(16ページ)

k 再生/一時停止ボタン [►/❚❚]
CDプレーヤーまたはiPodの再生時は、停止中に押すと再生が始まり、再生中に押すと一時停止します。(15ページ)

l 消音ボタン [MUTING]
一時的に音を小さくします。(13ページ)

m INFO/RDSボタン
このボタンは日本国内では使用しません。

n ディマーボタン [DIMMER]
ディスプレーの明るさを3段階に調節できます。(13ページ)

o サーチボタン (◄◄/►►)
CDプレーヤーの再生時は、PD-H600の早送り/早戻しに使用します。
iPodの再生時は、前または後ろの曲にスキップします。(15ページ)

p 音量ボタン [VOLUME +, −]
音量を調節します。

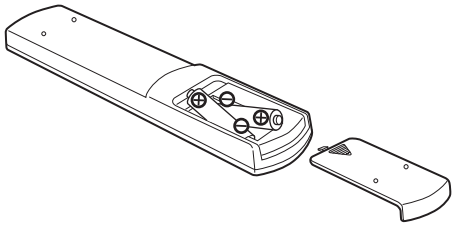
リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形) 2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期は…

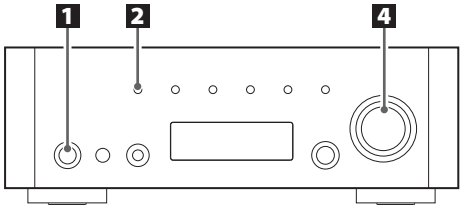
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

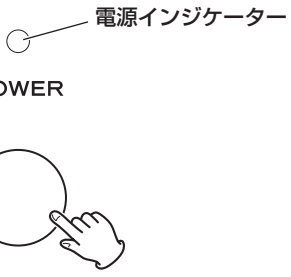
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでお使いください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1 ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

基本操作



1 電源を入れる。



電源インジケーターがオレンジから青に変わります。

システムコントロール機能を使う場合は、主電源スイッチ(POWER)はオンにしておいて、リモコンのスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)でオンとスタンバイを切り換えてください。

2 聴きたいソースを選ぶ。



入力切換ボタン(SOURCE)を押すたびに、ソースが以下のように切り換わります。



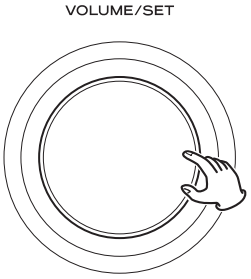
- リモコンの入力選択ボタン(TUNER, CD, iPod, AUX, PHONO)を押してソースを選ぶこともできます。

3 再生する機器を操作するか、本機で放送局を選ぶ。

各機器の取扱説明書を参照してください。

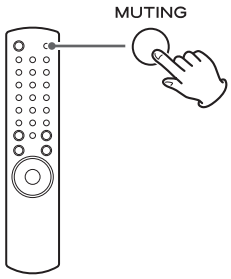
4 音量を調節する

音量つまみ(VOLUME)またはリモコンの音量ボタン(VOLUME)を操作して、適切な音量に調節してください。

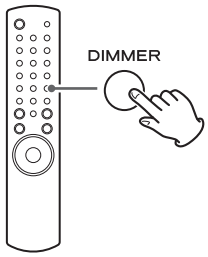


一時的に音を消すには(ミュート)

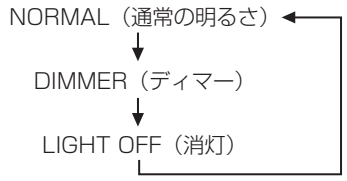
消音ボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。



ディスプレーを暗くするには(ディマー)



ディマーボタン(DIMMER)を押すたびに、ディスプレーの明るさが以下のように変わります。

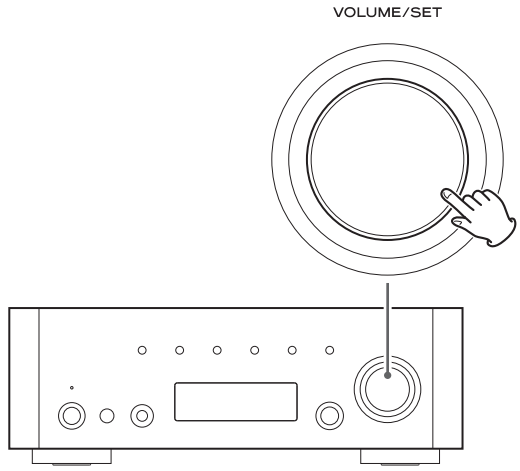


- スタンバイにすると、次にオンにしたときに通常の明るさになります。
- 消灯中に操作をすると、約3秒間だけディスプレーが通常の明るさになります。
- トーンダイレクト機能(14ページ)を使っているときは、設定にかかわらずディスプレーが消灯します。

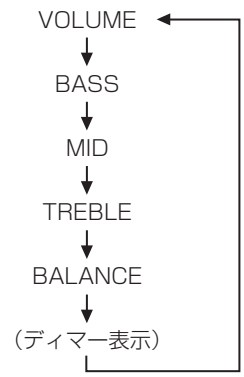
基本操作

音質や左右のバランスを調節するには

1 音量/セットつまみ(VOLUME/SET)を押して調節する項目を選びます。



音量/セットつまみ(VOLUME/SET)を押すたびに、表示が以下のように切り換わります。



VOLUME
音量を調節したときと同じ表示がでます。

BASS
低音域を調節します。(−12〜+12)

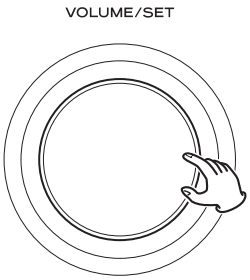
MID
中音域を調節します。(−12〜+12)

TREBLE
高音域を調節します。(−12〜+12)

BALANCE
左右のバランスを調節します。通常は中央(Center)にしてください。

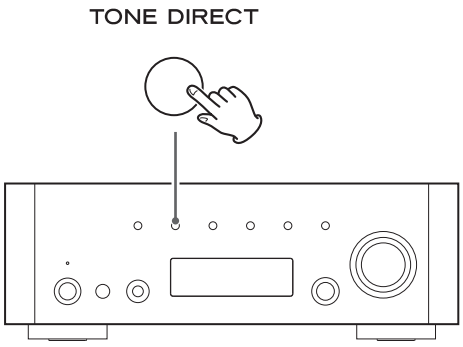
(ディマー表示)
ディスプレーの明るさを調節します。リモコンのディマーボタン(DIMMER)と同じ機能です。(13ページ)

2 音量/セットつまみ(VOLUME/SET)を回して調節します。

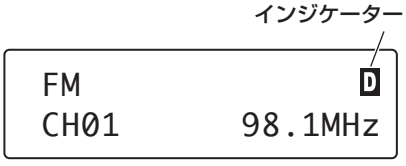


● 3秒間何も操作をしないと通常表示に戻ります。

トーンダイレクト



トーンダイレクトボタン(TONE DIRECT)を押すと、トーンとバランス回路をバイパスします。トーンダイレクトを選ぶとインジケーターが光ります。

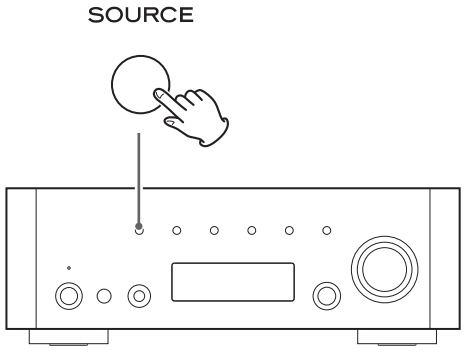


● トーンダイレクト機能をオフにするには、もう一度トーンダイレクトボタンを押します。

● トーンダイレクト機能がオンになっている時は、5秒間何も操作しないでいると、ディスプレーの表示が消えます。

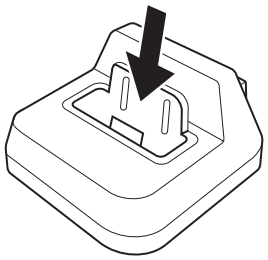
iPodを聴くには

1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「iPod」を選ぶ。



● リモコンで操作する場合は、iPodボタンを押します。

2 iPodドックにiPodを差し込む。



iPodの電源が自動的にオンになり、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。

● 入力が他のソースのときに iPodを差し込むと、iPodの電源がオンになり、iPodは一時停止状態になります。

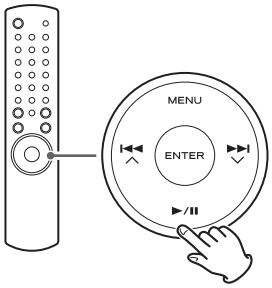
● お使いのiPodに合ったドックアダプタをセットしてからお使いください。(iPodドックの取扱説明書をごらんください)

● 本機のドックにiPodをセットすると、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。本機の電源がスタンバイの間は充電しません。

● ヘッドホンがiPodに差し込まれている場合、本機とヘッドホンの両方から音がでます。

再生を一時停止するには

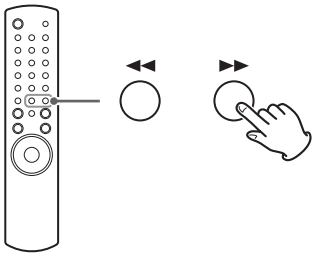
再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと一時停止します。



● 再生を始めるにはには、もう一度再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押してください。

好きな曲から再生するには

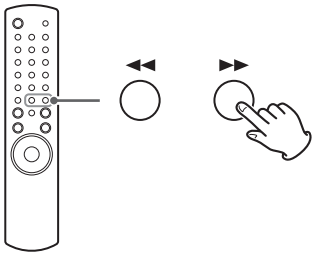
再生中にサーチボタン(◄◄または►►)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生します。希望する曲になるまで、繰り返し押してください。



● サーチボタン(◄◄)を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、サーチボタン(◄◄)を続けて押してください。

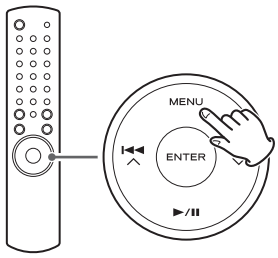
聴きたい部分を探すには

再生中にサーチボタン(◄◄または►►)を2秒以上押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。



iPodを聴くには

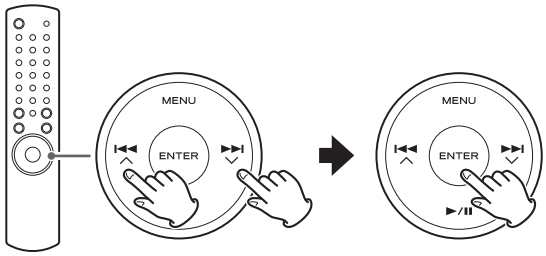
前のメニューに戻るには



メニューボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

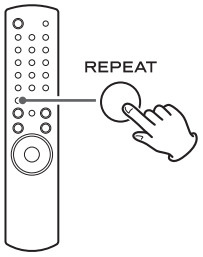
メニュー項目を選ぶには

スキップ/スクロールボタン(I◄◄ へ/ ►►I ∨)を押してメニュー項目を選び、エンターボタン(ENTER)を押してください。



● 本体で操作するには、マルチジョグ/エンターつまみ(MULTI JOG/ENTER)を回してメニュー項目を選び、マルチジョグ/エンターつまみ(MULTI JOG/ENTER)を押してください。

リピート再生

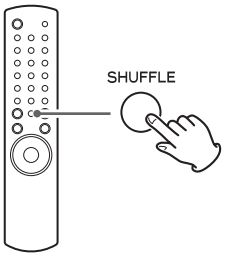


再生中にリピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピートのモードが変わります。

One（1曲リピート）
↓
All（全曲リピート）
↓
（通常の再生）

● 1曲リピートを選ぶとiPodのディスプレーに🔁アイコンが表示され、全曲リピートのときは🔁アイコンが表示されます。

シャッフル再生

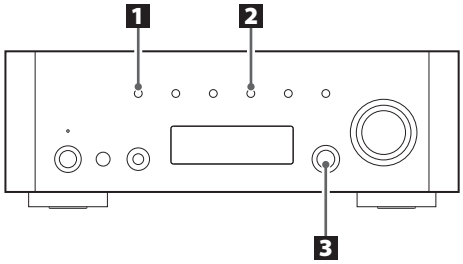


再生中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、シャッフルのモードが変わります。

Song
↓
Album
↓
（通常の再生）

● 「Song」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。
● 「Album」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。
● シャッフル再生中は、iPodのディスプレーに🔀アイコンが表示されます。

ラジオを聴くには



1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。

SOURCE



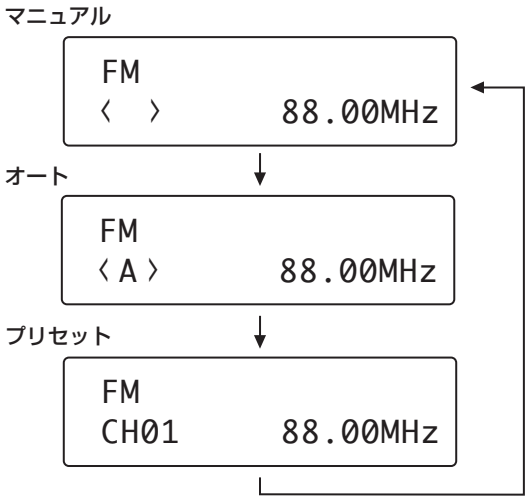
- リモコンで操作する場合は、TUNERボタンを押します。
- リモコンのバンドボタン(BAND)を押して「FM」または「AM」を選ぶこともできます。

2 チューニングモードを選ぶ。

TUNING MODE



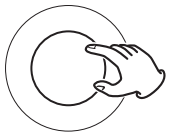
チューニングモードボタン(TUNING MODE)を押すたびに、チューニングモードが以下のように変わります。



- プリセットの方法は、「放送局のプリセット」(18ページ)をごらんください。

3 マルチジョグ/エンターつまみ(MULTI JOG/ENTER)を回して、希望の放送局を選局する。

MULTI JOG/
ENTER



チューニングモードがオートのときは、選局が自動的に始まり、放送局を受信すると止まります。
途中で止めたい場合は、チューニングモードボタン(TUNING MODE)を押します。

チューニングモードがマニュアルのときは、固定されたステップで周波数が変わります。(FM: 100 kHzステップ、AM: 9 kHzステップ)

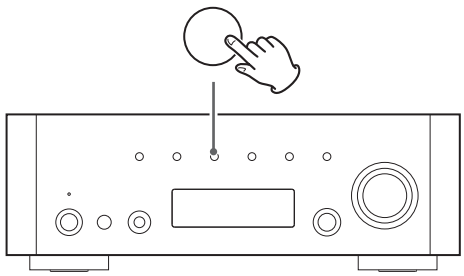
チューニングモードがプリセットのときは、プリセットされたチャンネルが選べます。

- リモコンの選局/プリセットボタン(TUNING/PRESET ∨/∧)を押して選局することもできます。

FMモード

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

FM MODE



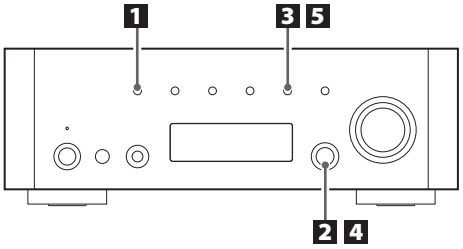
ステレオ:
FMステレオ放送をステレオで受信します。FMステレオ放送の受信中はディスプレーに「S」が表示されます。

モノラル:
ディスプレーに「M」が表示され、FM放送をモノラルで受信します。FMステレオ放送の受信状態が悪く、「S」が点滅しているときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

放送局のプリセット

マニュアルプリセット

FM、AM放送を各30局までプリセットできます。



1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。

SOURCE



- リモコンで操作する場合は、TUNERボタンを押します。
- リモコンのバンドボタン(BAND)を押して「FM」または「AM」を選ぶこともできます。

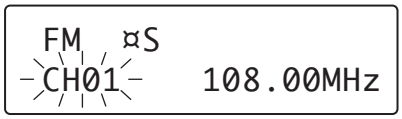
2 プリセットしたい放送局を受信する。

17ページの2～3を参照してください。

3 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

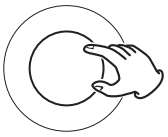
MEMORY



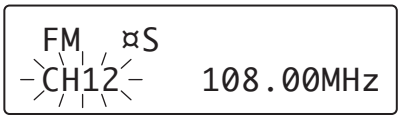


4 4秒以内に、マルチジョグ/エンターつまみ(MULTI JOG/ENTER)でプリセットチャンネルを選ぶ。

MULTI JOG/
ENTER



- リモコンの選局/プリセットボタン(TUNING/PRESET ∨/∧)を押してプリセットチャンネルを選ぶこともできます。



5 4秒以内に、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

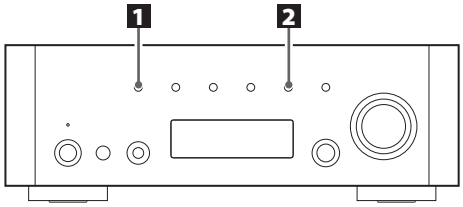
MEMORY



選んだ放送局がプリセットされます。

- 複数の放送局を記憶させる場合は、2～5を繰り返してください。
- 手順5で4秒以内にメモリーボタン(MEMORY)を押さないと、プリセットはされません。

オートプリセット



1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。

SOURCE



- リモコンで操作する場合は、TUNERボタンを押します。
- リモコンのバンドボタン(BAND)を押して「FM」または「AM」を選ぶこともできます。

2 メモリーボタン(MEMORY)を3秒以上押す。

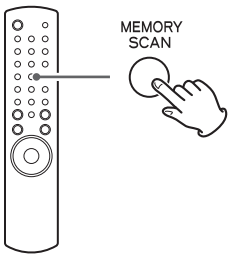
MEMORY



自動的に選局し、順にプリセットされます。

プリセットを確認する

プリセットした放送局の一覧を表示させることができます。



ラジオを聞いている時にメモリースキャンボタン(MEMORY SCAN)を押すと、プリセット番号と周波数が順に表示されます。全てのプリセット局が表示されると、プリセット選局モードに戻ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

アンプ部

電源が入らない。
- ➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。
- ➡ 音量/セットつまみ(VOLUME/SET)で音量を調節してください。
- ➡ 入力切換ボタン(SOURCE)で聴きたいソースを選んでください。
- ➡ 外部機器やスピーカーとの接続をもう一度確認してください。

再生中、音がとまる。
- ➡ スピーカー接続ワイヤの⊕と⊖がショートしているか、出力が過負荷のため保護回路が働いている可能性があります。すぐに電源を切ってスピーカーケーブルを確認し、原因を取り除いてください。
- ➡ 正しい定格インピーダンスのスピーカーシステムを使用してください。

低音が完全に再生されない。ステレオの定位が不安定。
- ➡ スピーカーシステムとの接続の極性(⊕、⊖)を確認してください。

BASS、MID、TREBLE、BALANCEの調整が反映されない。
- ➡ トーンダイレクトボタン(TONE DIRECT)を押してトーンダイレクト機能を解除してください。

左右の音が逆になる。
- ➡ スピーカーおよび入出力端子の接続の左右が逆になっていないか確認してください。

ブーンというノイズが聞こえる。
- ➡ 接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。
- ➡ レコードプレーヤーを接続した時は、必ずアース線も本機のアース端子に接続してください。

スピーカーシステムの片側からしか音がでない。
- ➡ スピーカーケーブルが外れていないかチェックしてください。
- ➡ BALANCEの設定が片側に寄りすぎている場合は、中央に合わせてください。

ディスプレーが表示されない。
- ➡ ディマーを「NORMAL」または「DIMMER」に設定してください。
- ➡ トーンダイレクトボタン(TONE DIRECT)を押してトーンダイレクト機能を解除してください。

リモコン

リモコンで操作できない。
- ➡ 本体の電源をオンにしてください。
- ➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

テレビなどが誤動作する。
- ➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

iPod

iPodをiPodドックに差し込めない。
- ➡ iPodドックに正しいアダプタが取り付けられているか確認してください。
- ➡ iPodドックにごみやほこりが付着していないか確認してから、再度iPodを差し込んでください。

iPodが動作しない。
- ➡ 一度iPodをiPodドックから抜き、しばらくしてからiPodを差し込んでください。
- ➡ iPodのソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合がありますので、アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

iPodの操作ができない。
- ➡ iPodのHOLDスイッチを解除してください。

ラジオ

放送が受信できない、または電波が弱い。

- ➡ アンテナの接続を確認し、アンテナの方向を調整してください。
- ➡ 正しく選局してください。
- ➡ 電波状態が改善しない場合は、屋外アンテナを使用してください。

雑音が多い。

- ➡ アンテナをテレビやCDプレーヤーからできるだけ離してください。

ステレオ放送がモノラルで受信される。

- ➡ FMモードボタン(FM MODE)を押してステレオ受信に切り換えてください。

本機のドックにiPodを接続して使用する場合のご注意

iPodのビデオ出力について

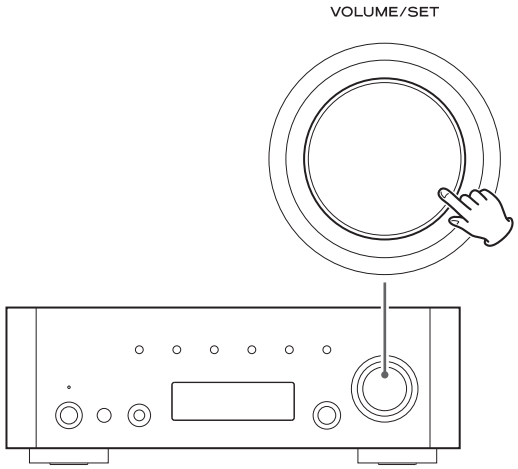
- 本機のドックからiPodのビデオを出力するには、接続するiPodのメニューで以下の設定を行ってください。
  「ビデオ」-「ビデオ設定」-「TV出力」
  で「オン」または「確認」を選んでください。
  「確認」を選んだ場合は、再生の度にビデオ出力するかどうかを選びます。
  iPodからビデオ出力すると、iPodの液晶画面ではビデオを再生しません。

タイマーでiPod touchを使用する場合

- iPod touchで「電源をオフ」にすると、本機のドックにiPod touchを接続してもタイマーでオンにできません。
  タイマーでiPod touchを使用する場合は、iPod touchの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)
- iPod touchでビデオの選択画面になっていると、本機のドックにiPod touchを接続してもタイマーでオンにできません。
  タイマーでiPod touchを使用する場合は、ビデオ以外を選択するようにしてください。

出荷時の状態に戻すには

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。
スタンバイ状態で、音量/セットつまみ(VOLUME/SET)を押し、電源がオンになったら離してください。



本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕　様

アンプ部

最大出力 . . . . . 75 W + 75 W（8Ω, 1kHz, JEITA)
90 W + 90 W（4Ω, 1kHz)
定格出力 . . . . . 60 W + 60 W（8Ω, 1kHz, 0.1 %)
75 W + 75 W（4Ω, 1kHz, 0.1 %)
全高調波歪率 . . . . . 0.05 %（1kHz, 8Ω, 40W)
S/N比(入力ショート)
PHONO . . . . . 70 dB（IHF-A/入力ショート)
AUX, CD. . . . . 100 dB（IHF-A/入力ショート)
TONE DIRECT . . 110 dB（IHF-A/入力ショート)
入力感度/インピーダンス
PHONO(対応カートリッジ: MM) . . . . .2.8 mV/10 kΩ
AUX, CD . . . . . 180 mV/47 kΩ
周波数特性. . . . . 10 Hz～65 kHz (-3 dB)
トーンコントロール . . . . . BASS: ±12 dB (100 Hz)
MID: ±12 dB（1 kHz)
TREBLE: ±12 dB（10 kHz)

FMチューナー部

受信周波数. . .78.0 MHz～90.0 MHz(100 kHzステップ)
受信感度 . . . . . .9 dBμ
歪率. . . . . 0.4 %（モノラル)
0.5 %（ステレオ)
S/N比 . . . . . 75 dB（モノラル)
70 dB（ステレオ)
セパレーション . . . . . 40 dB（1 kHz)
プリセット局数 30

AMチューナー部

受信周波数. . . .522 kHz～1,629 kHz(9 kHzステップ)
受信感度 . . . . . 48 dBμ
歪率. . . . . .0.8 %（74 dBμ)
S/N比 . . . . . 52 dB（80 dBμ)
プリセット局数 30

電源. AC100V, 50-60Hz
消費電力 . . . . . 80 W
待機電力 . . . . . .0.7 W
外形寸法(幅、高さ、奥行) . . . 290×102×338 mm
質量. . . . . 6.8 kg
付属品 . . . . . FMアンテナ×1
AMループアンテナ×1
電源コード×1
リモコン(RC-1181)×1
乾電池(単4)×2
iPodドック(DS-20)×1
取扱説明書、保証書

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■ 保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

20ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代:修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名:ステレオレシーバー　AG-H600
シリアルナンバー:
お買い上げ日:
販売店名:
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-701**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-501**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1108·MA-1427A